



ツルニチニチソウ（キョウチクトウ科 *Vinca major*）

名古屋大学博物館友の会

NUM 友の会ニュースレター No. 54

2019年4月17日発行

友の会の集いのご案内

2019年6月8日（土）13:30~16:00
博物館講義室（3階）

（いつもは名大祭の土曜日に開催されていましたが、今年の名大祭は、次の週の6月13日からです。今年は静かなキャンパスで友の会に集いましょう）

13:30 講演 足立 守

名古屋の地名の由来

あなたは知っていますか？

（予告編）濃尾平野は木曾三川と密接な関わりがあります。平野の南東部を占める名古屋市は、現在は木曾三川から遠く離れていますが、今から約3万年前には、木曾川が犬山→小牧→春日井をへて、名古屋の中心部をほぼ南北に流れていました。この古木曾川によって熱田大地が侵食されてできた低地は、大曾根凹地（おおぞねおうち；地質図では徳川美術館や鶴舞公園のあるピンク色の部分）と呼ばれています。大曾根凹地の端は坂として残っているので、注意して歩いてみるとよく分ります。千種区の古井ノ坂や吹上は、凹地の端の坂と関係した地名です。

名古屋市内には、大曾根凹地に関係する坂のほかに、矢田川で削られた急な坂（例えば、東区清水口の北の坂）がたくさんありますが、・・・坂という地名は数える程しかありません。乃木坂や神楽坂など、坂のついた地名が700以上もあると言われる東京と大きく違うのはなぜでしょうか。

今回のNUM友の会の集いでは、古井ノ坂を含めて、名古屋とその近隣のいくつかの地名の由来について考えてみたいと思います。



（5万分の1地質図 名古屋北部、名古屋南部；地質調査所）

14:30 友の会総会

活発なご意見をお願いします。

15:00 ミニコンサート

今回は KABA の皆様が伝統的なアイルランド音楽を演奏します。たっぷりとお楽しみください。

演奏予定曲：Londonderry Air
John Ryan's polka
他



写真サークル「写真展」開催のお知らせ

<前期>4月1日(木)~5月16日(木)

<後期>5月20日(月)~6月28日(金)

10:00 ~ 16:00 / 休館日: 土・日・祝日

会場: 野外観察園セミナーハウス 2階

発足してから6年目を迎えた写真サークルでは現在、上のように第5回の写真展を開催しています。年を追うごとにサークル会員のレベルは着実にアップし、各自のテーマもほだいに広がっています。特に今回は約3か月に及ぶ開催期間を<前期>と<後期>に分け、多彩なテーマで日頃の研鑽の成果を問うべく個性あふれる力作を<前期>は27点、<後期>は26点を展示して、ひとりでも多くの皆さんがお越しになるのをお待ちしております。

なお、<前期>の終了後、展示作品の一部を本山のSAKURA CAFE(地下鉄本山駅2番出口から徒歩2分、電話052-789-1110)に移し、引き続き5月18日(土)から7月2日(火)まで<サテライト写真展>を開催します。<前期>の写真展を鑑賞する機会がなかった方はもちろんのこと、もう一度、鑑賞したい方は、是非こちらの写真展にもお越しください。



前期展示『巨木の歴史』(撮影: 五十川真知子)



前期展示『向日葵に遊ぶ』(撮影: 梅原誠人)



後期展示『飛び立つ』(撮影: 塚本啓互)



後期展示『さあ一休み』(撮影: 谷口奈菜子)



前期展示『小さな狩人』(撮影: 五十川修)



前期展示『かばさんのお昼寝』(撮影: 市枝真木子)



後期展示『睡蓮II』(撮影: 川島一正)



後期展示『可憐な住人』(撮影: 吉野奈津子)

シリーズ Artist Earth (5)

壺石 (Tsuboishi, Armoured mudball)

足立 守

壺石は岐阜県東濃地方の土岐砂礫層（約 100 万年前）から見つかる特殊な礫（れき）（礫岩の礫）のことです（写真左）。礫と礫を接着しているのは、褐鉄鉱（ $\text{FeO}(\text{OH}) \cdot n\text{H}_2\text{O}$ ）という鉄鉱物なので、全体が赤褐色をしています。名古屋大学理学部教授であったメダカ博士の山本時男先生の趣味は石の収集で、そのコレクションには壺石も含まれていました。2015 年のメダカ展（めだかの学校-山本時男博士と日本のメダカ研究）では、石の担当者として壺石の形成プロセスのパネルも作成したので、以下にその一部を再録しておきます。

壺石の形成プロセスは、(1) 地滑りによって、柔らかい粘土の塊が斜面上の小石（礫）の上を移動する。(2) 粘土の塊が斜面を転がっていく時に、柔らかい粘土の周りに礫が付着して、球～楕円体になる。欧米では、こうした球をアーマード・マッドボール（armoured mudball）「石の鎧をつけた泥のボール」と呼んでいる。(3) アーマード・マッドボールが地中に埋まる。(4) 地下水に含まれる鉄分が礫の間にしみ込んで褐鉄鉱となり、礫と礫を接着する。中心部の粘土は水を通さないの、粘土の周りにだけ鉄分が沈澱する。(5) アーマード・マッドボールを採取。(6) アーマード・マッドボールの表面の礫を 1 個はがし（イラスト参照）、内部の柔らかい泥岩を水で洗うとその部分が空洞（写真右の黒い部分）となり、壺石ができあがる。

山本先生のサンプルは典型的な壺石で、表面の礫はすべてチャートでした。岐阜県東濃地方では、大昔の地滑りでできた壺石が「一輪挿しの花瓶」として古くから使われていました。



チャートの礫で覆われた
アーマード・マッドボール
(直径約 25cm)



アーマード・マッドボールの
表面の礫をはがす

シャンソン講座 2018 年度活動報告

♪シャンソン講座は、2010 年度より定期的に活動しており、今年度は 10 年目となりました。山本雅世先生のご指導のもと、毎年 10 曲前後のシャンソンを新しく勉強し、3 月には博物館講義室でミニ発表会を開催しております。今年度は以下の曲を歌いました。

- 4 月 セ・シ・ボン（イヴ・モンタン）
- 5 月 わかっているの（エンリコ・マシアス）
- 6 月 笑わないで（フィリップ・オリヴィエ）
- 7 月 聞かせてよ愛の言葉を（リシュエンヌ・ボワイエ）日本語
- 8 月 聞かせてよ愛の言葉を（リシュエンヌ・ボワイエ）フランス語
- 9 月 兵隊が戦争に行くとき（イヴ・モンタン）
- 10 月 群衆（エディット・ピアフ）1 番
- 11 月 群衆（エディット・ピアフ）2 番
- 12 月 愛しかないとき（ジャック・ブレル）
- 1 月 モンパパ（ジョルジュ・ミルトン）
- 2 月 発表会リハーサル
- 3 月 ミニ発表会

♪2019 年度のシャンソン講座の日程は、以下のとおりです（第 3 土曜日 10:15~12:15）。

- 4 月 20 日、5 月 18 日、6 月 15 日、7 月 20 日
- 8 月 17 日、9 月 21 日、10 月 5 日、11 月 16 日
- 12 月 21 日、2020 年 1 月 11 日、2 月 15 日
- 3 月 14 日（ミニ発表会）

♪皆様、ミニ発表会に是非おいでください♪



中を洗うと空洞ができて壺石が誕生

野外観察園 2019年春

吉野奈津子

観察園でもちらほら桜が咲きはじめました。今年はおケが見事でした。キブシもたわわに花をぶら下げています。フクジュソウ、ヒメリュウキンカ、ジンチョウゲといつも通りに花は咲いて春を知らせてくれています。鳥が運んできたサンシュユの芽生えが、今年やっと花を咲かせました。10年近く経ったのでしょうか。日当たりが悪いので諦めていた分うれしい開花となりました。

今年に入ってから2回ほど、観察園の中でタヌキを見ました。昔からお隣の体育館に居付いており、たまに見かけたこともありましたが、10年ほど前の体育館改修工事の際、ファミリーマート近辺へ逃げ出して大騒動に。ひどい皮膚病にかかっていたのでその後どうなったのか。気になりつつも確認のしようがない状況でした。今回見たのが同じ個体かどうかは分かりませんが、変わらずタヌキが棲める環境であったことは喜ばしいことです。写真を撮ったこの日は通路に出てコックリコックリ・・・お昼寝中。ほほえましかったです。もしも園内で見かけてもそっとしておいてくださいね。



クリスマスローズ (キンポウゲ科 *Helleborus niger*)



キブシ (キブシ科 *Stachyurus praecox*)



ボケ (バラ科 *Chaenomeles speciosa*)

名古屋大学博物館友の会 〒464-8601 名古屋市千種区不老町 名古屋大学博物館 気付
電話：052-789-5767 (博物館事務室) F A X : 052-789-5896 (博物館事務室)
Eメール：jimur@num.nagoya-u.ac.jp アクセス：地下鉄名城線「名古屋大学」下車 2番出口

年会費 1000 円 (4/1~3/31) 10/1~3/31 に入会した場合は 500 円 (次年度は 1000 円)

家族会員制度あり (同居の家族 1 名まで)

<振込先> ゆうちょ銀行 口座番号：00800-8-166807 加入者名：名古屋大学博物館友の会